

設定マニュアル

RadiForce®
RX650
RX650-AR
RX850
RX850-AR

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの設定マニュアルおよび取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

- コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明については取扱説明書をお読みください。
- 最新の設定マニュアルは、当社のWebサイトからダウンロードできます。
<http://www.eizo.co.jp>



製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の設定マニュアルをご確認ください。

-
- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 - 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 - 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 - 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-

目次

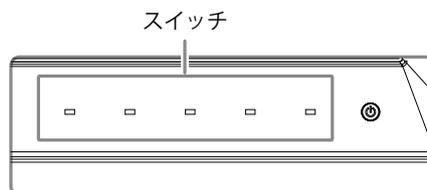
目次	3	第4章 モニターの品質管理をする	20
第1章 基本操作と機能一覧	4	4-1. キャリブレーションを実行する	20
1-1. 調整メニューの基本操作方法	4	● SelfCalibrationを実行する	20
1-2. 機能一覧	6	● SelfCalibrationの結果を閲覧する	20
第2章 画面を調整する	8	4-2. 階調をチェックする	21
2-1. 対応解像度	8	● 階調チェックを実行する	21
2-2. 解像度を設定する	8	● 階調チェックの結果を閲覧する	21
● モニターの設定	8	4-3. 寿命予測データを取得する	22
● コンピュータの設定	8	4-4. 警告表示、QC履歴表示のオン/オフを設定する	22
2-3. カラー調整をする	10	第5章 省電力機能について	23
● 表示モード（CAL Switchモード）を選択する	10	5-1. パワーセーブの設定をする	23
● 詳細な調整をする	11	5-2. ランプの明るさを調整する	23
● 各モードの調整項目	11	5-3. 離席時の省電力モードを設定する	24
● ブライトネス（明るさ）を調整する	12	第6章 こんなときは	25
● コントラストを調整する	12	6-1. 画面が表示されない場合	25
● 色温度を調整する	13	6-2. 画面に関する症状	26
● ガンマを調整する	13	6-3. その他の症状	27
● 色合いを調整する	13	第7章 ご参考に	29
● 色の濃さを調整する	14	7-1. アーム取付方法	29
● ゲインを調整する	14	7-2. 壁掛け金具取付方法	30
● モノクロ画像表示エリアのモードを設定する	15	7-3. 複数のコンピュータを接続する	31
● モノクロ画像表示エリアの検出タイプを設定する	15	● 入力信号を切り替える	31
● モノクロ画像表示エリアのハイライト表示設定をする	15	● 入力信号の切替方法を設定する	32
第3章 モニターの設定をする	16	7-4. USB（Universal Serial Bus）の活用について	33
3-1. 使用しない表示モードをスキップする	16	● 必要なシステム環境	33
3-2. 表示言語を設定する	16	● 接続方法（USB機能のセットアップ方法）	33
3-3. 調整メニューの表示を設定する	16	7-5. モニター情報を表示する	34
3-4. 操作スイッチをロックする	17	● 信号情報を表示する	34
3-5. DDC通信の有効/無効を設定する	17	● モニター情報を表示する	34
3-6. DC5V出力の有効/無効を設定する	18	7-6. 主な初期設定値	35
3-7. 階調表示警告を表示/非表示にする	18		
3-8. 初期設定に戻す	19		
● カラー調整値をリセットする	19		
● すべての設定内容をリセットする	19		

第1章 基本操作と機能一覧

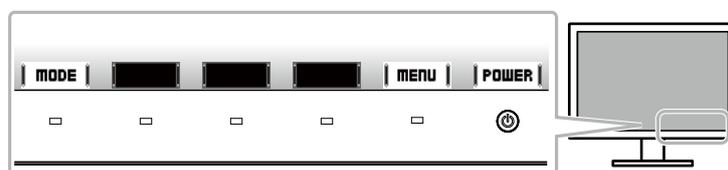
1-1. 調整メニューの基本操作方法

1. 調整メニューの表示

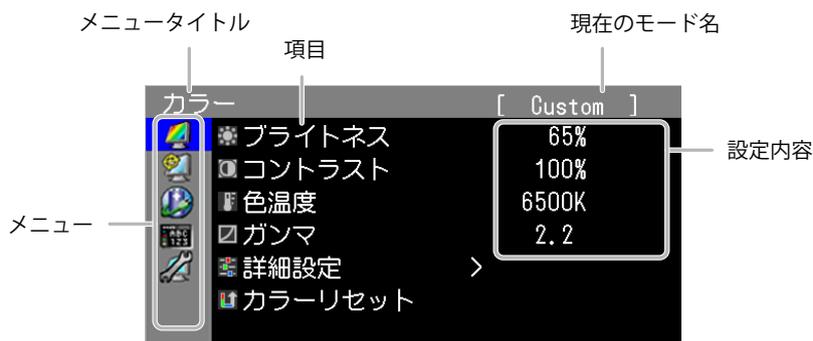
1. いずれかのスイッチに触れます（ \odot を除く）。



2. ガイドが表示されます。

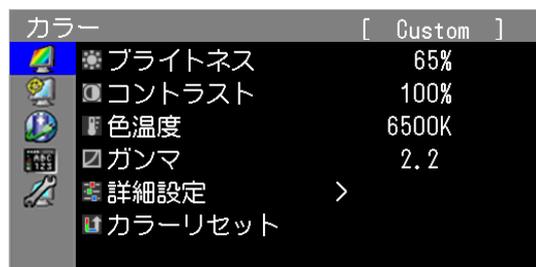


3. **| MENU |** を選択し、調整メニューを表示します。

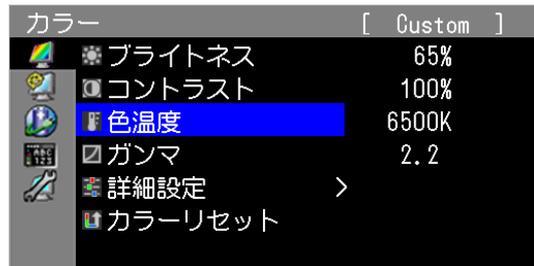


2. 調整/設定

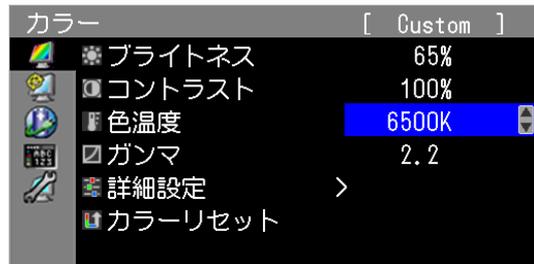
1. **| ▲ | | ▼ |** で、調整/設定したいメニューを選択し、**| ENTER |** を選択します。



2. | ▲ || ▼ | で、調整/設定したい項目を選択し、| ENTER | を選択します。



3. | ▲ || ▼ | で、調整/設定し、| OK | を選択して確定します。



3. 終了

1. | RETURN | を数回選択すると、メニューを終了します。

1-2. 機能一覧

調整メニューの調整および設定項目一覧表です。

メインメニュー	項目	参照先	
カラー※1 	 ブライツネス	「2-3. カラー調整をする」 (P.10)	
	 コントラスト		
	 色温度		
	 ガンマ		
	 詳細設定		 色合い
			 色の濃さ
			 ゲイン
	 Hybrid Area		
	 Hybrid Assignment		
 Highlight Area			
 カラーリセット	「3-8. 初期設定に戻す」 (P.19)		
RadiCS SelfQC 	 SelfCalibration	「4-1. キャリブレーションを実行する」 (P.20)	
	 階調チェック	「4-2. 階調をチェックする」 (P.21)	
	 LEA	「4-3. 寿命予測データを取得する」 (P.22)	
	 設定	「4-4. 警告表示、QC履歴表示のオン/オフを設定する」 (P.22)	
Power Manager 	 パワーセーブ	「5-1. パワーセーブの設定をする」 (P.23)	
	 ランプ輝度	「5-2. ランプの明るさを調整する」 (P.23)	
	 人感センサー	「5-3. 離席時の省電力モードを設定する」 (P.24)	
メニュー設定 	 言語選択	「3-2. 表示言語を設定する」 (P.16)	
	 メニューポジション	「3-3. 調整メニューの表示を設定する」 (P.16)	
ツール 	 入力	「入力信号を切り替える」 (P.31)	
	 入力切替	「入力信号の切替方法を設定する」 (P.32)	
	 モードスキップ	「3-1. 使用しない表示モードをスキップする」 (P.16)	
	 入力信号情報	「7-5. モニター情報を表示する」 (P.34)	
	 モニター情報		
	 オールリセット	「3-8. 初期設定に戻す」 (P.19)	

メインメニュー	項目	参照先
オプション設定	操作ロック	「3-4. 操作スイッチをロックする」 (P.17)
	DDC	「3-5. DDC通信の有効/無効を設定する」 (P.17)
	DC5V Output	「3-6. DC5V出力の有効/無効を設定する」 (P.18)
	解像度	「2-2. 解像度を設定する」 (P.8)
	階調表示警告	「3-7. 階調表示警告を表示/非表示にする」 (P.18)

※1 「カラー」で調整/設定できる機能はモードにより異なります（「各モードの調整項目」 (P.11) 参照）。

第2章 画面を調整する

2-1. 対応解像度

この製品の対応解像度については、取扱説明書「対応解像度について」を参照してください。

2-2. 解像度を設定する

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

● モニターの設定

設定方法

1. ①に触れて、モニターの電源を切ります。
2. 一番左側のスイッチ（| MODE |）に触れながら①に2秒以上触れてモニターの電源を入れます。
「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「解像度」を選択し、| ENTER |を選択します。
4. | ▲ |または| ▼ |でいずれかの設定を選択し、| OK |を選択します。

設定		詳細	
RX650 RX650-AR	フル	DisplayPort	1640×2048×2
		DVI	1640×2048×2
	6MP	DisplayPort	1536×2048×2
		DVI	1536×2048×2
RX850 RX850-AR	8MP	DisplayPort	2048×2160×2
		DVI	2048×2160×2
	QFHD	DisplayPort	1920×2160×2
		DVI	1920×2160×2

5. | ▲ |または| ▼ |で「完了」を選択します。
6. | ENTER |を選択します。
「オプション設定」メニューが閉じます。

● コンピュータの設定

Windows 8/Windows 7の場合

1. Windows 8の場合、スタート画面から「デスクトップ」のタイルをクリックして、デスクトップを表示します。
2. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
3. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
4. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、モニターを選択します。
5. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
6. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
7. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更を維持する」ボタンをクリックします。

Windows Vistaの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

Windows XPの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の解像度」で解像度を選択します。
4. 選択したら、「OK」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

Mac OS Xの場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

2-3. カラー調整をする

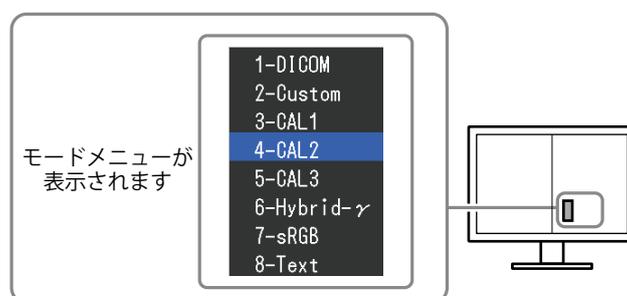
● 表示モード（CAL Switchモード）を選択する

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モードの種類

○：キャリブレーション可能

モード	目的	
1-DICOM	DICOMで表示したい場合に選択します。	○
2-Custom	好みに応じた設定をおこなう際に選択します。	○
3-CAL1	キャリブレーションソフトウェアによる調整状態で表示します。	○
4-CAL2		
5-CAL3		
6-Hybrid- γ	同一画面内のモノクロ画像とカラー画像の表示エリアを自動判別し、それぞれ設定した状態で表示します。	—
7-sRGB	sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。	—
8-Text	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。	—



設定方法

1. いずれかのスイッチに触れます（ \odot を除く）。
ガイドが表示されます。
2. | **MODE** | を選択します。
モードメニューが右画面左下に表示されます。
3. | **MODE** | を選択するたびにモードが順に切り替わり表示されます。
モードメニュー表示中は、| ▲ | または | ▼ | を選択してモードを切り替えることもできます。

→1-DICOM←→2-Custom←→3-CAL1←→4-CAL2←→5-CAL3←→6-Hybrid- γ ←→7-sRGB←→8-Text←

参考

- ・調整メニューとモード名を同時に表示させることはできません。

● 詳細な調整をする

調整メニューの「カラー」で、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点

- ・ 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて30分以上経過してからおこなってください。
- ・ モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- ・ 「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。

● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。（調整/設定できない機能は選択できません。）

○：調整可 ー：調整不可

アイコン	機能名	CAL Switchモード					
		1-DICOM ^{※1}	2-Custom ^{※1}	3-CAL1 ^{※1} 4-CAL2 ^{※1} 5-CAL3 ^{※1}	6-Hybrid- γ	7-sRGB	8-Text
	ブライツネス	○	○	○	ー	○	○
	コントラスト	ー	○	ー	ー	ー	○
	色温度	ー	○	ー	ー	○	○
	ガンマ	ー	○	ー	ー	ー	○
	色合い	ー	○	ー	ー	ー	○
	色の濃さ	ー	○	ー	ー	ー	○
	ゲイン	ー	○	ー	ー	ー	ー
	Hybrid Area	ー	ー	ー	○	ー	ー
	Hybrid Assignment	ー	ー	ー	○	ー	ー
	Highlight Area	ー	ー	ー	○	ー	ー
	カラーリセット	○	○	○	○	○	○

※1 専用のキャリブレーションキット（RadiCS LE/取扱説明書の「オプション品」参照）を使用して、このモードでキャリブレーションをおこなった場合、調整項目は「ブライツネス」と「カラーリセット」のみになります。

● ブライトネス（明るさ）を調整する

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0～100%

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「カラー」で「ブライトネス」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
3. **| ▲ |**または**| ▼ |**で設定します。
4. 設定が完了したら**| OK |**を選択します。

参考

- ・ブライトネスが100%でも画面が暗いと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。
-

● コントラストを調整する

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0～100%

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「カラー」で「コントラスト」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
「コントラスト」が表示されます。
3. **| ▲ |**または**| ▼ |**で設定します。
4. 設定が完了したら**| OK |**を選択します。

参考

- ・100%ですべての色階調を表示します。
 - ・画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。
 - ・コントラスト調整は次のような場合に使用してください。
 - ブライトネスが0%でも画面が明るいと感じたとき。（コントラストを100%以下に設定します。）
-

● 色温度を調整する

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するとき用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

Native、6000K～15000K（100K単位）、User、Standard

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「カラー」で「色温度」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
3. **| ▲ |**または**| ▼ |**で設定します。
4. 設定が完了したら**| OK |**を選択します。

参考

- ・「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する」（P.14）参照）。
 - ・「Native」でパネル本来の色（ゲインの値はRGB各100%）になります。
 - ・ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
-

● ガンマを調整する

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

設定範囲

1.6～2.7

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「カラー」で「ガンマ」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
3. **| ▲ |**または**| ▼ |**で設定します。
4. 設定が完了したら**| OK |**を選択します。

● 色合いを調整する

色合いを調整します。

設定範囲

-100～100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
3. 「色合い」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
4. **| ▲ |**または**| ▼ |**で設定します。
5. 設定が完了したら**| OK |**を選択します。

注意点

- ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
-

●色の濃さを調整する

色の濃さを調整します。

設定範囲

-100～100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**ENTER**を選択します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、**ENTER**を選択します。
3. 「色の濃さ」を選択し、**ENTER**を選択します。
4. **▲**または**▼**で設定します。
5. 設定が完了したら**OK**を選択します。

注意点

- ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- ・最小値 (-100) で白黒の画面となります。
-

●ゲインを調整する

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0～100%

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**ENTER**を選択します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、**ENTER**を選択します。
3. 「ゲイン」を選択し、**ENTER**を選択します。
4. 「Red」、「Green」、「Blue」の中から調整する色を選択し、**ENTER**を選択します。
5. **▲**または**▼**で設定します。
6. 設定が完了したら**OK**を選択します。

注意点

- ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- ・色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
 - ・ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
-

● モノクロ画像表示エリアのモードを設定する

モノクロ画像表示エリアに適したモードを設定できます（「表示モード（CAL Switchモード）を選択する」（P.10）参照）。

設定範囲

DICOM、CAL1、CAL2、CAL3

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「カラー」で「Hybrid Area」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
3. **| ▲ |**または**| ▼ |**で設定します。
4. 設定が完了したら**| OK |**を選択します。

注意点

- モード設定が「オフ」になっているモードは選択できません（「3-1. 使用しない表示モードをスキップする」（P.16）参照）。
- DICOM/CAL1/CAL2/CAL3の「モード設定」がすべて「オフ」の場合は、最後に選択されていたモードが設定されます。

参考

- モノクロ画像表示エリア以外は、「Custom」モードとなります。
- ブライトネスは、選択したモードの値と同一になります。ブライトネスを変更したい場合は、選択したモードで調整してください。

● モノクロ画像表示エリアの検出タイプを設定する

モノクロ表示エリアの検出タイプを設定できます。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「カラー」で「Hybrid Assignment」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
3. **| ▲ |**または**| ▼ |**で「Full Scan」または「Custom」を選択します。
4. 設定が完了したら**| OK |**を選択します。

検出タイプ	目的
Full Scan	モノクロ表示エリアを自動的に判別します。
Custom	モノクロ表示エリアをソフトウェアを使用し、手動で設定します。

● モノクロ画像表示エリアのハイライト表示設定をする

モノクロ画像表示エリアのハイライト表示のオン/オフを設定します。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「カラー」で「Highlight Area」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
3. **| ▲ |**または**| ▼ |**で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら**| OK |**を選択します。

参考

- **| ■■ |**でハイライト表示のオン/オフを設定することもできます。

第3章 モニターの設定をする

3-1. 使用しない表示モードをスキップする

モードを選択するときに、特定のモードをスキップすることができます。

表示するモードが限定されている場合や、表示状態をむやみに変更したくない場合にご利用ください。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「ツール」で「モードスキップ」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
3. **| ▲ |**または**| ▼ |**で設定を変更するモードを選択し、**| ENTER |**を選択します。
4. **| ▲ |**または**| ▼ |**で「スキップ」または「-」を選択します。
5. 設定が完了したら**| OK |**を選択します。

注意点

- ・すべてのモードを無効にすることはできません。1つ以上のモードを「-」に設定してください。

3-2. 表示言語を設定する

調整メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、中国語（簡体）、中国語（繁体）

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「メニュー設定」で「言語選択」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
3. **| ▲ |**または**| ▼ |**で言語を選択します。
4. 設定が完了したら**| OK |**を選択します。

3-3. 調整メニューの表示を設定する

調整メニューの表示位置を移動できます。調整メニューは右画面に表示されます。

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「メニュー設定」で「メニューポジション」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
3. **| ▲ |**または**| ▼ |**で位置を選択します。
4. 設定が完了したら**| OK |**を選択します。

3-4. 操作スイッチをロックする

調整/設定した状態を変更できないようにします。

設定方法

1. **⏻**に触れて、モニターの電源を切ります。
2. 一番左側のスイッチ (**| MODE |**)に触れながら **⏻**に2秒以上触れてモニターの電源を入れます。
「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「操作ロック」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
4. **| ▲ |**または**| ▼ |**で「オフ」/「メニュー」/「オール」のいずれかを選択し、**| ENTER |**を選択します。

設定項目	ロックできるスイッチ
オフ (初期設定)	なし (すべてのスイッチが有効)
メニュー	 MENU のスイッチ (調整メニューによる調整/設定)
オール	⏻ を除くすべてのスイッチ

5. **| ▲ |**または**| ▼ |**で「完了」を選択します。
6. **| ENTER |**を選択します。
「オプション設定」メニューが閉じます。

3-5. DDC通信の有効/無効を設定する

DDC通信の有効/無効を切り替えます。通常はオンでご使用ください。(DDC/CI通信とは異なります。)

注意点

- DDC通信はシグナル1 (DVI) のみ対応しています。

設定方法

1. **⏻**に触れて、モニターの電源を切ります。
2. 一番左側のスイッチ (**| MODE |**)に触れながら **⏻**に2秒以上触れてモニターの電源を入れます。
「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「DDC」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
4. **| ▲ |**または**| ▼ |**で「オン」または「オフ」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
5. **| ▲ |**または**| ▼ |**で「完了」を選択します。
6. **| ENTER |**を選択します。
「オプション設定」メニューが閉じます。

3-6. DC5V出力の有効/無効を設定する

DC5V出力の有効/無効を切り替えます。通常はオフでご使用ください。

設定方法

1. **⏻** を選択して、モニターの電源を切ります。
2. 一番左側のスイッチ (**| MODE |**) に触れながら **⏻** に2秒以上触れてモニターの電源を入れます。
「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「DC5V Output」を選択し、**| ENTER |** を選択します。
4. **| ▲ |** または **| ▼ |** で「オン」または「オフ」を選択し、**| ENTER |** を選択します。
5. **| ▲ |** または **| ▼ |** で「完了」を選択します。
6. **| ENTER |** を選択します。
「オプション設定」メニューが閉じます。

3-7. 階調表示警告を表示/非表示にする

DisplayPort接続時に6bit (64階調) の信号を検知した場合に、階調表示エラーメッセージを表示することができます。エラーメッセージが表示された場合は、ACアダプタの主電源を入れ直してください。

注意点

- 通常は「オン」でご使用ください（出荷設定は「オン」です）。
- 6bit (64階調) で使用する場合のみ、「オフ」にしてください。

設定方法

1. **⏻** を選択して、モニターの電源を切ります。
2. 一番左側のスイッチ (**| MODE |**) に触れながら **⏻** に2秒以上触れてモニターの電源を入れます。
「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「階調表示警告」を選択し、**| ENTER |** を選択します。
4. **| ▲ |** または **| ▼ |** で「オン」または「オフ」を選択し、**| ENTER |** を選択します。
5. **| ▲ |** または **| ▼ |** で「完了」を選択します。
6. **| ENTER |** を選択します。
「オプション設定」メニューが閉じます。

3-8. 初期設定に戻す

リセットには、カラー調整のみを初期設定に戻すカラーリセットと、すべての設定内容を初期設定に戻すオールリセットの2種類があります。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- 初期値については、「7-6. 主な初期設定値」(P.35)を参照してください。

● カラー調整値をリセットする

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

設定方法

- 調整メニューの「カラー」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
- 「カラー」で「カラーリセット」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
- | ▲ |**または**| ▼ |**で「実行」を選択します。
- | ENTER |**を選択します。

カラー調整値が初期設定になります。

● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期設定に戻します（「入力」、「オプション設定」メニューは除く）。

設定方法

- 調整メニューの「ツール」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
- 「ツール」で「オールリセット」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
- | ▲ |**または**| ▼ |**で「実行」を選択します。
- | ENTER |**を選択します。

「入力」および「オプション設定」メニューを除くすべての設定内容が初期設定になります。

第4章 モニターの品質管理をする

この製品は、Integrated Front Sensorを内蔵しており、キャリブレーションや階調チェックをモニター単独で定期的に行うことができます。

参考

- ・医療規格に対応した高度な品質管理をおこないたい場合には、別売のモニター品質管理ソフトウェアキット「RadiCS UX1」を使用してください。
- ・Integrated Front Sensorの測定結果を基準としたいUX1センサーの測定結果に合わせたい場合は、RadiCS/RadiCS LEを使用してコレレーションを実行してください。定期的なコレレーションにより、Integrated Front SensorはUX1と同等の測定精度を維持することができます。詳細は、RadiCS/RadiCS LE取扱説明書を参照してください。
- ・キャリブレーションの調整目標および階調チェックの判定値、スケジュールは、「RadiCS」で設定できます。
- ・キャリブレーションの調整目標、スケジュールは、付属のソフトウェア「RadiCS LE」でも設定できます。詳細は、「RadiCS LE取扱説明書」（CD-ROM内）を参照してください。

4-1. キャリブレーションを実行する

SelfCalibrationを実行し、最新の結果を閲覧できます。また、RadiCS/RadiCS LEでスケジュールを設定した場合には、次回の実行スケジュールを表示します。

● SelfCalibrationを実行する

設定方法

1. 調整メニューの「RadiCS SelfQC」を選択し、**|ENTER|**を選択します。
2. 「RadiCS SelfQC」で「SelfCalibration」を選択し、**|ENTER|**を選択します。
3. **|▲|**または**|▼|**で「実行」を選択します。
4. 設定が完了したら**|OK|**を選択します。
SelfCalibrationが実行されます。

注意点

- ・SelfCalibration実行後は、実際の使用環境と同じ温度や照度で階調チェックを実行してください。

● SelfCalibrationの結果を閲覧する

注意点

- ・「QC履歴表示」を「オン」に設定した場合に閲覧できます（「4-4. 警告表示、QC履歴表示のオン/オフを設定する」（P.22）参照）。

設定方法

1. 調整メニューの「RadiCS SelfQC」を選択し、**|ENTER|**を選択します。
2. 「RadiCS SelfQC」で「SelfCalibration」を選択し、**|ENTER|**を選択します。
3. **|▲|**または**|▼|**で「結果閲覧」を選択します。
4. **|▲|**または**|▼|**で「DICOM」/「Custom」/「CAL1」/「CAL2」/「CAL3」のいずれかを選択します。
5. 設定が完了したら**|OK|**を選択します。
SelfCalibrationの結果（最大エラー率、前回実行日、エラーコードなど）が表示されます。

4-2. 階調をチェックする

階調チェックを実行し、最新の結果を閲覧できます。また、RadiCSでスケジュールを設定した場合には、次回の実行スケジュールを表示します。

● 階調チェックを実行する

注意点

- ・ 実際の使用環境と同じ温度や照度で階調チェックを実行してください。

設定方法

1. 調整メニューの「RadiCS SelfQC」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「RadiCS SelfQC」で「階調チェック」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
3. **| ▲ |**または**| ▼ |**で「実行」を選択します。
4. 設定が完了したら**| OK |**を選択します。
階調チェックが実行されます。

● 階調チェックの結果を閲覧する

注意点

- ・ 「QC履歴表示」を「オン」に設定した場合に閲覧できます。

設定方法

1. 調整メニューの「RadiCS SelfQC」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「RadiCS SelfQC」で「階調チェック」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
3. **| ▲ |**または**| ▼ |**で「結果閲覧」を選択します。
4. **| ▲ |**または**| ▼ |**で「DICOM」/「Custom」/「CAL1」/「CAL2」/「CAL3」のいずれかを選択します。
5. 設定が完了したら**| OK |**を選択します。
過去5回までの階調チェックの結果 (Passed/Failed/Canceled/ERR) が表示されます。

4-3. 寿命予測データを取得する

モニターの寿命を予測するのに必要なデータを取得することができます。

参考

- データは100時間ごとに収集されます。
- 「パワーセーブ」を選択した場合、100時間経過後、パワーセーブに移行するとき、または電源が切れるときにデータが収集されます。
- 「定期測定」または「パワーセーブ」を選択した場合、データ収集時にIntegrated Front Sensorが稼働して測定をおこないます。「オフ」を選択した場合は、データ収集時にIntegrated Front Sensorを使った測定はおこないません。
- 次のタイミングでデータが保存されます。
 - 500、1000、2000、4000、7000、10000、15000、20000、25000、30000 時間

設定方法

1. 調整メニューの「RadiCS SelfQC」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「RadiCS SelfQC」で「LEA」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
3. **| ▲ |**または**| ▼ |**で「測定時期」を選択します。
4. **| ▲ |**または**| ▼ |**で「パワーセーブ」/「定期測定」/「オフ」のいずれかを選択します。
5. 設定が完了したら**| OK |**を選択します。

4-4. 警告表示、QC履歴表示のオン/オフを設定する

階調チェックの結果がNGだった場合の警告表示、QC履歴表示のオン/オフを設定することができます。

設定方法

1. 調整メニューの「RadiCS SelfQC」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「RadiCS SelfQC」で「設定」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
3. **| ▲ |**または**| ▼ |**で「警告表示」または「QC履歴表示」を選択します。
4. **| ▲ |**または**| ▼ |**で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら**| OK |**を選択します。

第5章 省電力機能について

5-1. パワーセーブの設定をする

コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする/しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- ACアダプタの主電源を切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- モニターが省電力モードの場合、またモニターの電源スイッチで電源を切っても、USBアップストリームポートおよびUSBダウンストリームポートに接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- パワーセーブ移行の5秒前になると予告メッセージが表示されます。

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、**|ENTER|**を選択します。
2. 「PowerManager」で「パワーセーブ」を選択し、**|ENTER|**を選択します。
3. **|▲|**または**|▼|**で「オフ」または「高」/「低」のいずれかを選択します。

設定	機能
高	バックライトを消します。最も省電力効果が高くなります。
低	バックライト最小点灯状態にします。次回、パワーセーブから復帰した後、動作が安定するまでの時間を短くすることができます。

4. 設定が完了したら**|OK|**を選択します。

省電力の流れ

DVI信号入力時

「DVI DMPM」に準拠しています。

DisplayPort信号入力時

「DisplayPort Standard V1.1a」に準拠しています。

コンピュータの設定に連動し5秒後に省電力モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	緑
省電力モード	省電力モード	橙

5-2. ランプの明るさを調整する

画面表示時の電源ランプ（緑）の輝度を設定することができます（初期設定では、電源ランプは電源を入れたときに点灯し、4に設定されています）。

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、**|ENTER|**を選択します。
2. 「PowerManager」で「ランプ輝度」を選択し、**|ENTER|**を選択します。
3. **|▲|**または**|▼|**で電源ランプの明るさを「オフ」または1～7の範囲から好みに応じて選択します。
4. 設定が完了したら**|OK|**を選択します。

5-3. 離席時の省電力モードを設定する

人感センサーをオンに設定すると、モニター正面のセンサーが人の動きを検知します。人がモニターから離れると、モニターは自動的に省電力モードに移行し、画面を非表示にして消費電力を低減します。再度人が近づくと、省電力モードから復帰して画面を表示します。モニターの使用環境や使用者の動作量に応じて、感度、省電力モードに移行するまでの時間を設定できます。

参考

- ・省電力モードへの移行時には、移行をお知らせするメッセージが表示されます。

注意点

- ・「RadiCS SelfQC」実行時には使用できません。

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、**|ENTER|** を選択します。
2. 「PowerManager」で「人感センサー」を選択し、**|ENTER|** を選択します。
3. **|▲|** または **|▼|** で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら **|OK|** を選択します。
5. 「オン」を選択した場合、詳細を設定します。

項目	設定範囲	詳細
検知時間	5、30sec 1、3、5、10、15、 30、45、60min	人がモニターから離れてから、「離席中」というメッセージが表示されるまでの時間を設定します。メッセージが表示されると、約20秒後にモニターが省電力モードに移行します。
検知感度	レベル5 レベル4 レベル3 レベル2 レベル1	設定値を大きくすると（最大で「レベル5」）、人の小さな動きも敏感に検知し、省電力モードに移行しにくくなります。逆に、設定値を小さくすると（最小で「レベル1」）、人の大きな動きだけを検知し、省電力モードに移行しやすくなります。人感センサーは、モニター正面のセンサーが熱の移動を検知することで機能します。そのため、服装や気温により感度が変化します。意図せず省電力モードに移行したり、省電力モードから復帰する場合には、設定値を変更してみてください。
リセット	-	すべての設定内容を初期設定に戻します。

参考

- ・気温が高いときは感度が低くなるため検知感度を大きく、気温が低いときは感度が高くなるため検知感度を小さく設定するとより快適に使用いただけます。

第6章 こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはEIZOサポートにご相談ください。

6-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">電源コードおよびアダプタ電源ケーブルは正しく接続されていますか。ACアダプタの主電源を入れてください。⏻に触れてください。ACアダプタの主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯：緑色	<ul style="list-style-type: none">調整メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「詳細な調整をする」(P.11) 参照）。ACアダプタの主電源を切り、もう一度電源を入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯：橙色	<ul style="list-style-type: none">入力信号を切り替えてみてください（「入力信号を切り替える」(P.31) 参照）。マウス、キーボードを操作してみてください。コンピュータの電源は入っていますか。人感センサーを「オン」に設定している場合、省電力モードに移行している可能性があります。モニターに近づいてみてください。ACアダプタの主電源を切り、もう一度電源を入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none">電源ランプが点滅：橙色、緑色	<ul style="list-style-type: none">DisplayPort接続している機器に問題があります。問題を解決し、モニターの電源を入れなおしてみてください。詳細はDisplayPort接続している機器の取扱説明書を参照してください。
2. 次のようなメッセージが表示される <ul style="list-style-type: none">信号が入力されていない場合の表示です。 例： <div data-bbox="268 1379 673 1827" style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: #fff; padding: 10px;"><p style="text-align: center; color: #00FF00;">入力信号無し</p><div style="display: flex; align-items: center;"><p>シグナル-1 DVI</p></div><p>fH: 0.0 kHz fV: 0.0 Hz</p><div style="display: flex; align-items: center;"><p>シグナル-2 DP</p></div><p>fH: 0.0 kHz fV: 0.0 Hz</p><p style="text-align: center; color: #00FF00;">入力信号を確認してください。</p></div>	<p>この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。コンピュータの電源は入っていますか。信号ケーブルは正しく接続されていますか。入力信号を切り替えてみてください（「入力信号を切り替える」(P.31) 参照）。

症状	原因と対処方法
<ul style="list-style-type: none"> 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。（範囲外の周波数はマゼンタで表示されます。） 例： <div style="background-color: black; color: white; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; color: yellow;">入力信号エラー</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <p>シグナル-1 DVI</p> </div> <p style="margin-left: 20px;">fD: 36.0MHz fH: 43.2kHz fV: 85.0Hz</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <p>シグナル-2 DP</p> </div> <p style="margin-left: 20px;">fD: 36.0MHz fH: 43.2kHz fV: 85.0Hz</p> <p style="text-align: center; color: yellow; font-weight: bold;">入力信号を確認してください。</p> </div> <p>fD: ドットクロック fH: 水平走査周波数 fV: 垂直走査周波数</p>	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（取扱説明書「対応解像度」参照）。 コンピュータを再起動してみてください。 グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

6-2. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる/暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください。（液晶モニターのパックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOサポートにご相談ください。）
2. 文字がぼやけて見える	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（取扱説明書「対応解像度」参照）。
3. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
5. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを選択した跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
6. 左右2画面を1画面として認識させて表示した場合、左右の画面がずれる	<ul style="list-style-type: none"> ご使用のグラフィックスボードによっては、タイミングがずれて表示される場合があります。販売店またはEIZOサポートにご相談ください。

6-3. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 調整メニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> 操作スイッチのロックが機能していないか確認してみてください（「3-4. 操作スイッチをロックする」(P.17) 参照）。
2. モードメニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> 操作スイッチのロックが機能していないか確認してみてください（「3-4. 操作スイッチをロックする」(P.17) 参照）。
3. 操作スイッチが効かない	<ul style="list-style-type: none"> 操作スイッチのロックが機能していないか確認してみてください（「3-4. 操作スイッチをロックする」(P.17) 参照）。 スイッチ表面に水滴や異物が付着していませんか。表面を軽くふき、乾いた手でもう一度スイッチに触れてみてください。 手袋を装着していませんか。手袋を外した、乾いた手でもう一度スイッチに触れてみてください。
4. (人感センサー使用時) 離席しても画面が消えない/モニターに近づいても画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> モニターの設置環境を確認してください。次の環境では正しく動作しないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> - 風が当たる場所にモニターを設置していませんか。 - モニターの周辺に熱を出す機器がありませんか。 - センサーの前に障害物がありませんか。 センサーに汚れが付いていませんか。汚れがある場合は、柔らかい布で取り除いてください。 モニターの正面に座っていますか。人感センサーは、モニター正面のセンサーが熱の移動を検知することで機能します。 気温が高い場合、省電力モードから復帰しないことがあります。マウス、キーボードを操作しても画面が表示されない場合は、モニターの電源ボタンで電源を切って、再度電源を入れてください。画面が表示されたら、検知感度を大きい値に変更してください（「5-3. 離席時の省電力モードを設定する」(P.24) 参照）。
5. USBケーブルで接続したモニターが認識されない/モニターに接続しているUSB周辺機器が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> USBケーブルは正しく接続されていますか（「7-4. USB (Universal Serial Bus) の活用について」(P.33) 参照）。 別のUSBポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、EIZOサポートにご相談ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。 コンピュータを再起動してみてください。 直接コンピュータと周辺機器を接続してみて、周辺機器が正しく動作した場合は、お買い求めの販売店またはEIZOサポートにご相談ください。 ご使用のコンピュータおよびOSがUSBに対応しているかご確認ください（各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください）。 Windowsをご使用の場合、コンピュータに搭載されているBIOSのUSBに関する設定をご確認ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。

症状	原因と対処方法
6. 使用中に電源が切れ、画面が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • モニターおよびACアダプタは内部温度が極度に高温になると、自動的に電源が切れます。高温状態のままでは、再度電源スイッチを入れても1分後にまた電源が切れます。 • 設置場所や環境を変え、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 <ul style="list-style-type: none"> - 通風孔がふさがっていませんか。 - 周囲に高温のものが置かれていませんか。 • 設置場所や環境を変えても電源が入らない場合は、EIZOサポートに連絡してください。 <p>注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> • モニターおよびACアダプタの通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しないでください。
7. ACアダプタのFAN動作音が気になる	<ul style="list-style-type: none"> • ACアダプタには、本体内の温度上昇を抑えるためにファンが内蔵されています。設置位置によっては動作音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。 • 設置位置やFAN通風孔の向きを変えてみてください。
8. Hybrid Gamma機能が使用できない	<ul style="list-style-type: none"> • 左右画面の入力解像度が異なっていませんか。 • 左右画面の入力解像度が同一または片方の画面のみ信号が入力されている場合に使用できます。
9. SelfCalibrarion/階調チェックに失敗する	<ul style="list-style-type: none"> • 取扱説明書のエラーコード表を参照してください。 • エラーコード表にないコードが表示された場合は、販売点またはEIZOサポートにご相談ください。 <p>注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> • Integrated Front Sensorに触らないでください。
10. SelfCalibrarion/階調チェックの履歴に時刻が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • RadiCS/RadiCS LEを使用して「モニター検出」を実行してください。詳細は、RadiCS/RadiCS LE取扱説明書を参照してください。

第7章 ご参考に

7-1. アーム取付方法

モニターはスタンド部分を取り外すことによって、他社製アーム（または他社製スタンド）に取り付けることが可能になります。

注意点

- ・ 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- ・ 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものを選択してください。
 - 取付部のネジ穴間隔：100mm×100mm
 - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- ・ 取り付けには次のねじをご使用ください。
 - 本体部分とスタンドを固定しているねじ
- ・ アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
 - 上45°下45°
- ・ ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- ・ 取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。
- ・ モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。

取付方法

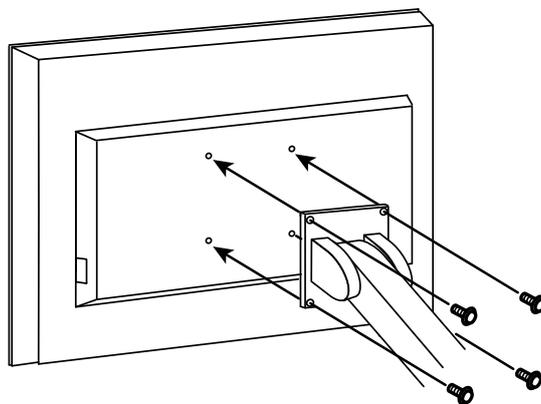
1. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ4箇所を取り外します。

3. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

手順2で取り外したねじを使って取り付けます。



7-2. 壁掛け金具取付方法

モニターおよびACアダプタは、壁掛け用金具に取り付けることが可能です。

注意点

- 取り付けは、設置業者に依頼してください。
- 壁掛け金具は別途準備してください。
- 取り付けの際は、壁掛け金具の取扱説明書の指示に従ってください。
- 取り付けには次のねじをご使用ください。
 - モニター：本体部分とスタンドを固定しているねじ
 - ACアダプタ：裏面のねじ（3本）
- ACアダプタは、取付方法の記載に従って正しい設置方向で取り付けてください。
- ACアダプタ裏面のねじはACアダプタを設置後、必ず取り付けてください。
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- 取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。
- モニター、ACアダプタおよび壁掛け用金具は重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。

取付方法

1. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

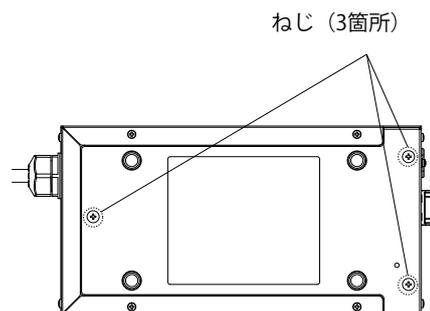
別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ4箇所を取り外します。

3. 壁掛け用金具を設置し、モニターを取り付けます。

手順2で取り外したねじを使って取り付けます。

4. 壁掛け用金具にACアダプタを取り付けます。

ACアダプタ裏面のねじ3箇所を取り外します。



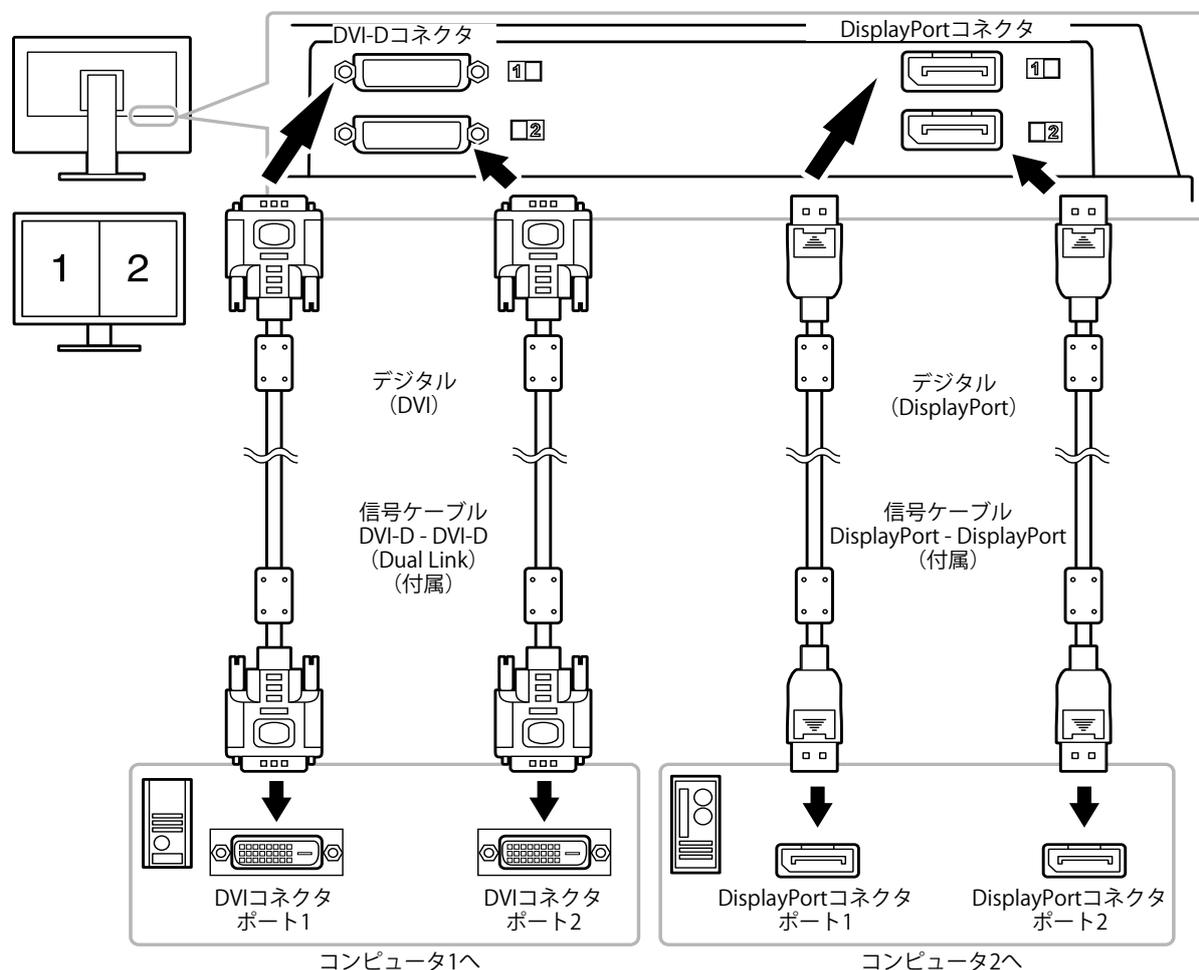
取り外したねじを使って、次の図の方向に取り付けます。設置方向を間違えないでください。



7-3. 複数のコンピュータを接続する

この製品は、複数のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

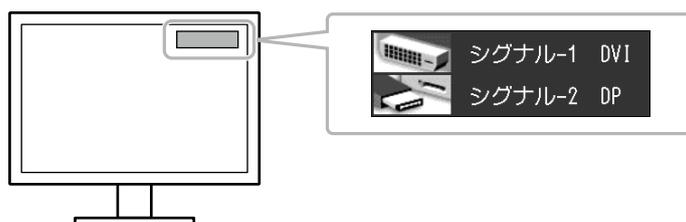
接続例



● 入力信号を切り替える

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、**|ENTER|** を選択します。
2. 「ツール」で「入力」を選択し、**|ENTER|** を選択します。
3. **|▲|** または **|▼|** で「DVI-DVI」 / 「DVI-DP」 / 「DP-DP」 / 「DP-DVI」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら **|ENTER|** を選択します。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



● 入力信号の切替方法を設定する

設定	機能
オート	コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して左右の画面それぞれに表示します。（例：DisplayPort 1 - DisplayPort 2 / DisplayPort 1 - DVI 2 / DVI 1 - DisplayPort 2 / DVI 1 - DVI 2） コンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に、他の信号を表示しません。
マニュアル	表示中のコンピュータの信号のみを検知します。「入力」で表示させたい入力信号を選択してください。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「ツール」で「入力切替」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
3. **| ▲ |**または**| ▼ |**で「オート」または「マニュアル」を選択します。
4. 設定が完了したら**| ENTER |**を選択します。

参考

- 「オート」が選択されている場合は、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみモニターの省電力機能が動作します。

7-4. USB (Universal Serial Bus) の活用について

この製品はUSB規格に対応しているハブを搭載しています。USB対応のコンピュータまたは他のUSBハブに接続することにより、この製品がUSBハブとして機能し、USBに対応している周辺機器と接続できます。

● 必要なシステム環境

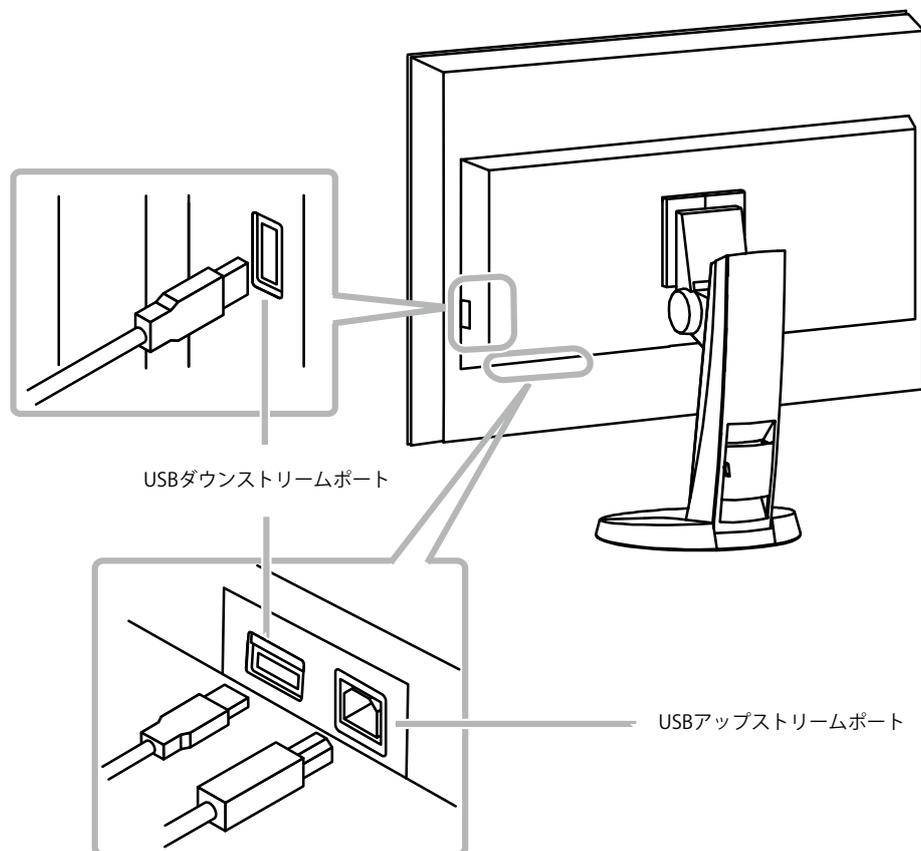
- USBポートを搭載したコンピュータ、あるいはUSB対応のコンピュータに接続している他のUSBハブ
- Windows 2000/XP/Vista/7/8またはMac OS 9.2.2およびMac OS X 10.2以降
- USBケーブル

■ 注意点

- 使用するコンピュータ、OSおよび周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターが省電力モードの場合、またはモニターの電源スイッチのみで電源が切れている場合でも、USBダウンストリームポートに接続されている機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- ACアダプタの主電源スイッチオフ時、USBポートに接続されている機器は動作しません。

● 接続方法 (USB機能のセットアップ方法)

1. はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動しておきます。
2. USB対応のコンピュータ (あるいは他のUSBハブ) のUSBダウンストリームポートとモニターのUSBアップストリームポートをUSBケーブルで接続します。
USBケーブルの接続により自動的にUSBのハブ機能がセットアップされます。
3. USB対応の周辺機器をモニターのUSBダウンストリームポートに接続します。



7-5. モニター情報を表示する

● 信号情報を表示する

現在表示している入力信号の情報を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「ツール」で「入力信号情報」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
「入力信号情報」が表示されます。

(例)



● モニター情報を表示する

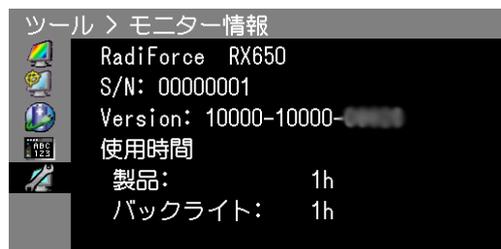
この製品に関する情報を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
2. 「ツール」で「モニター情報」を選択し、**| ENTER |**を選択します。
「モニター情報」が表示されます。

製品名、製造番号、ファームウェアバージョン、使用時間などを表示します。

(例)



注意点

- ・工場での検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

7-6. 主な初期設定値

CAL Switchモード：工場出荷時の表示設定は1-DICOMモードです。

RX650/RX650-AR

モード	輝度	色温度	ガンマ値
1-DICOM	400 cd/m ²	7500K	DICOM
2-Custom	約400 cd/m ²	7500K	2.2
3-CAL1	300 cd/m ²	7500K	DICOM
4-CAL2	300 cd/m ²	7500K	2.2
5-CAL3	400 cd/m ²	6500K	DICOM
6-sRGB	約250 cd/m ²	6500K	Standard
7-Text	約100 cd/m ²	6500K	2.2

RX850/RX850-AR

モード	輝度	色温度	ガンマ値
1-DICOM	500 cd/m ²	7500K	DICOM
2-Custom	約500 cd/m ²	7500K	2.2
3-CAL1	400 cd/m ²	7500K	DICOM
4-CAL2	400 cd/m ²	7500K	2.2
5-CAL3	500 cd/m ²	6500K	DICOM
6-sRGB	約250 cd/m ²	6500K	Standard
7-Text	約100 cd/m ²	6500K	2.2

その他

入力 ^{※1}	DVI-DVI
人感センサー	オフ
パワーセーブ	高
入力切替	オート
DDC ^{※1}	オン
DC5V Output ^{※1}	オフ
解像度 ^{※1}	RX650/RX650-AR：フル RX850/RX850-AR：8MP
階調表示警告	オン
メニューポジション	中央
言語選択	日本語

※1 「オールリセット」 (P.19参照) を実行しても初期設定値には戻りません。

